



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 クリナップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7955

URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 強一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当

(氏名) 田中 仁

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	94,597	9.8	7,264	50.3	6,973	53.3	4,309	53.2
25年3月期第3四半期	86,145	13.0	4,833	74.8	4,547	76.0	2,812	15.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,526百万円 (61.6%) 25年3月期第3四半期 2,801百万円 (18.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	92.49	—
25年3月期第3四半期	60.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	92,994	59,628	64.1	1,279.81
25年3月期	85,891	56,033	65.2	1,202.66

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 59,628百万円 25年3月期 56,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(平成26年2月6日)公表いたしました「平成26年3月期配当予想の修正(創業65周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,600	8.9	7,400	55.6	7,000	60.1	4,100	63.6	88.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成26年2月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	46,942,374 株	25年3月期	46,942,374 株
26年3月期3Q	350,978 株	25年3月期	350,758 株
26年3月期3Q	46,591,509 株	25年3月期3Q	46,591,660 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算短信のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(その他の注記事項)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により円安及び株高が進行し、緩やかな景気回復の動きがみられました。

住宅設備機器業界におきましては、政府による住宅取得支援策に加え、低水準を維持する住宅ローン金利や消費税増税前の駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数は平成24年9月より16ヶ月連続して前年同月を上回るなど、堅調に推移いたしました。

このような中で当社グループは、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」を中心として、平成25年12月に『美コートワークトップ』を標準装備して進化させたシステムキッチン「S.S.」やフィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国102ヶ所のショールームを適時リニューアルを加えつつ新商品フェアを実施し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きVE活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S.S.」は数量、金額とも減、「クリンレディ」は数量、金額とも大幅増、「ラクエラ」も数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比10.3%増の722億2千9百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも増、「ユアシス」は数量、金額とも大幅増、洗面化粧台においても数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比6.4%増の180億3千万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.8%増の945億9千7百万円となりました。利益面では営業利益は同50.3%増の72億6千4百万円、経常利益は同53.3%増の69億7千3百万円、四半期純利益は同53.2%増の43億9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は929億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億2百万円増加いたしました。流動資産は649億7千4百万円となり、61億2千6百万円増加いたしました。これは有価証券が6億9千9百万円減少した一方、現金及び預金が21億3百万円、受取手形及び売掛金が26億3千1百万円、電子記録債権が5億7千4百万円、商品及び製品が12億3千3百万円増加したこと等によります。固定資産は280億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7千6百万円増加いたしました。これは生産設備の増強、ショールーム移転・改装等により有形固定資産が5億1百万円、情報基盤整備等により無形固定資産が3億5百万円、投資その他の資産が1億6千9百万円増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は333億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億8百万円の増加となりました。流動負債は買掛金が9億9千1百万円、短期借入金が15億円、未払金が11億2千2百万円、未払法人税等が15億1千8百万円増加したこと等により48億5千1百万円増加し、269億4千6百万円となりました。固定負債は主に長期借入金11億9千9百万円、退職給付引当金が1億4千3百万円減少したこと等により13億4千2百万円減少し、64億2千万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は596億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億9千4百万円増加いたしました。これは四半期純利益43億9百万円、その他有価証券評価差額金1億8千6百万円の増加があった一方、配当金の支払い9億3千1百万円があったこと等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.2%から64.1%になりました。

(キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ16億4百万円(5.9%)増加して288億8百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間において、営業活動によって得られた資金は48億4千万円(前年同期比2.9%減)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が69億6千9百万円と前年同期比24億5千1百万円の増益で、減価償却費が22億4千2百万円、仕入債務の増加9億9千1百万円、未払金の増加13億3千4百万円があった一方、賞与引当金の減少9億6千万円、売上債権の増加26億6千3百万円、たな卸資産の増加15億8千6百万円、法人税等の支払額11億8百万円があったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は25億4千6百万円(前年同期比9.6%増)となりました。これは生産設備の増設及び改修、ショールーム移転・改装等有形固定資産の取得に伴う支出が19億8千2百万円、情報システム構築に伴う支出が9億8百万円あった一方、有価証券の償還による収入が2億円、有形固定資産の売却による収入が1億4千5百万円あったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は7億1千5百万円（前年同期比71.3%減）となりました。これは長期借入金の約定返済11億9千9百万円、配当金の支払いが9億3千1百万円あった一方、短期借入金の純増が15億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、政府による住宅取得支援策等で順調に推移する新設住宅着工戸数や消費税増税前の駆け込み需要に下支えされ、今期は堅調に推移するものと思われまます。

このような状況下、当社グループはキズも汚れもダブルガードする『美コートワークトップ』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」やフィルターを自動洗浄する「洗エールレンジフード」等の高付加価値商品で差別化を図り、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」やトータルコーディネート可能なシステムキッチン「ラクエラ」及びシステムバスルーム「ユア시스」等を中心に売上拡大に努めてまいります。また、生産面での原価低減、コスト削減にも努めてまいります。

以上により、通期の連結業績予想につきましては、直近の経営環境を踏まえ、売上高1,236億円、営業利益74億円、経常利益70億円、当期純利益41億円に修正させていただきます。

なお、平成25年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	121,500	5,800	5,500	3,000	64.39
今回修正予想 (B)	123,600	7,400	7,000	4,100	88.00
増減額 (B-A)	2,100	1,600	1,500	1,100	—
増減率 (%)	1.7	27.6	27.3	36.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	113,533	4,755	4,372	2,506	53.79

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,690	26,794
受取手形及び売掛金	24,931	27,562
電子記録債権	2,464	3,039
有価証券	2,713	2,013
商品及び製品	874	2,108
仕掛品	103	101
原材料及び貯蔵品	970	1,058
その他	2,143	2,345
貸倒引当金	△44	△50
流動資産合計	58,847	64,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,498	8,636
その他(純額)	10,998	11,361
有形固定資産合計	19,496	19,997
無形固定資産		
1,867	1,867	2,172
投資その他の資産		
投資有価証券	3,074	3,359
その他	2,703	2,578
貸倒引当金	△98	△89
投資その他の資産合計	5,679	5,849
固定資産合計	27,043	28,019
資産合計	85,891	92,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,849	7,840
短期借入金	1,599	3,099
未払金	10,534	11,657
未払法人税等	746	2,265
賞与引当金	1,289	328
資産除去債務	2	7
その他	1,072	1,747
流動負債合計	22,094	26,946
固定負債		
長期借入金	3,168	1,968
退職給付引当金	1,793	1,649
役員退職慰労引当金	424	424
資産除去債務	354	351
その他	2,021	2,025
固定負債合計	7,762	6,420
負債合計	29,857	33,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	30,183	33,560
自己株式	△224	△224
株主資本合計	55,578	58,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450	636
為替換算調整勘定	5	36
その他の包括利益累計額合計	455	672
純資産合計	56,033	59,628
負債純資産合計	85,891	92,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	86,145	94,597
売上原価	55,819	60,823
売上総利益	30,325	33,774
販売費及び一般管理費	25,492	26,509
営業利益	4,833	7,264
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	52	61
仕入割引	204	224
その他	125	113
営業外収益合計	398	415
営業外費用		
支払利息	52	35
売上割引	563	607
その他	68	64
営業外費用合計	684	707
経常利益	4,547	6,973
特別利益		
固定資産売却益	55	80
投資有価証券売却益	15	6
特別利益合計	71	87
特別損失		
固定資産除売却損	86	87
投資有価証券評価損	3	1
退職特別加算金	10	0
減損損失	1	1
特別損失合計	101	91
税金等調整前四半期純利益	4,518	6,969
法人税等	1,705	2,660
少数株主損益調整前四半期純利益	2,812	4,309
四半期純利益	2,812	4,309

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,812	4,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	186
為替換算調整勘定	△1	30
その他の包括利益合計	△11	217
四半期包括利益	2,801	4,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,801	4,526
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,518	6,969
減価償却費	2,029	2,242
賞与引当金の増減額(△は減少)	△852	△960
売上債権の増減額(△は増加)	375	△2,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,304	△1,586
仕入債務の増減額(△は減少)	227	991
未払金の増減額(△は減少)	799	1,334
その他	△337	△420
小計	5,456	5,905
利息及び配当金の受取額	67	78
利息の支払額	△55	△34
法人税等の支払額	△483	△1,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,984	4,840
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△200	—
有価証券の償還による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△1,534	△1,982
有形固定資産の売却による収入	59	145
無形固定資産の取得による支出	△729	△908
投資有価証券の取得による支出	△205	△1
投資有価証券の売却による収入	77	9
投資有価証券の償還による収入	200	—
その他	9	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	△2,546
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,364	1,500
長期借入れによる収入	1,800	—
長期借入金の返済による支出	△2,383	△1,199
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△466	△931
その他	△79	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,492	△715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	168	1,604
現金及び現金同等物の期首残高	26,248	27,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,416	28,808

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社及び連結子会社は、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(その他の注記事項)

(総合設立型厚生年金基金に係る偶発債務)

当第3四半期連結会計期間(平成25年12月31日)

当社及び当社連結子会社の一部が加入する「東京都家具厚生年金基金」は、平成25年9月10日開催の代議員会において、解散方針の決議をいたしました。

当決議により、同基金の解散に伴い費用の発生が見込まれますが、現時点で不確定要素が多く、合理的な見積り金額の算定ができません。